

農場から航空宇宙まで、世界最大級の認証機関です。

インターテック・サーティフィケーションは、JGAP、ASIAGAP及びGLOBALG.A.P.の認証機関です。各種GAP認証をはじめ、ISOマネジメントシステム等、農業から航空宇宙までの分野をカバーする世界最大級の認証機関として、UKAS（英国）等からインターテック・グループが取得したすべての認定に基づき、あらゆる産業分野にわたる幅広い認証サービスを巨大な多国籍組織から小規模組織まで全世界で約30,000社のお客様に提供しています。みなさまの理想的なビジネスパートナーとして、未来に革新と付加価値をもたらす効果のある審査サービスを提供いたします。

会社概要

商号 インターテック・サーティフィケーション株式会社
所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4階
営業品目 ISO 9001/ISO 14001/ISO 27001/ISO 45001/IATF 16949/ISO 13485/AS 9100/
ISO 39001/ISO 22000/FSSC 22000/JGAP/ASIAGAP/GLOBALG.A.P./
JISマーク表示制度(JIS A 5308)/MSC CoC/ASC CoC/FSC® CoC/温室効果ガス排出量検証/
POSI(感染症拡大防止)認証プログラム/テキスタイルエクステンジ認証<RCS、GRS、OCS>、
GOTS認証/ISCC PLUS、ISCC EU、ISCC CORSIA認証 など
【二社監査】CSR、Intertek独自規格<WCA、SQP、MQP、TQP、TGI、ECM、GSV>
及びカスタマイズ規格、SMETA<2P/4P>、BSCI、ICS、RBA、SABO00、ICTI、WRAP、
GMP Certification、衛生検査 など
【研修・セミナー】ISO 9001/ISO 14001/ISO 45001 審査員養成コース(IRCA認定)・
内部監査員養成コース、JGAP審査員研修、その他の各種研修コース・セミナー など

インターテックについて

私たちインターテックは世界中で幅広い産業分野の品質を支えるリーディングカンパニーです。審査、検査、試験、トレーニング、アドバイザリー、品質保証、認証業務を通じて、あらゆるお客様の製品やプロセス、資産に付加価値を提供します。また、1,000ヶ所を超える試験所やオフィス、100ヶ国以上で勤務するスタッフ40,000人のネットワークを活かし、グローバルな市場でお客様の成功をサポートします。そして、私たちは世界中の市場でお客様の期待に安全で継続的に、実行力を持って誠実にお応えします。詳しくは www.intertek.com (英文)まで

intertek
Total Quality. Assured.

インターテック・サーティフィケーション株式会社

■ 東京事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4階
TEL.03-4510-2779 (担当部門) 03-4510-2752 (営業部直通) FAX.03-6432-4040
E-mail:info.ba-japan@intertek.com

■ 大阪事務所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5階
TEL.06-6150-0571 FAX.06-6150-0575
E-mail:info.ba-osaka@intertek.com

■ URL <https://ba.intertek-jpn.com/>

GAP

Good Agricultural Practice

農業生産工程管理

intertek
Total Quality. Assured.

TOTAL QUALITY.
ASSURED.

インターテック・サーティフィケーション株式会社

GAPは、食の安全や環境保存に取り組む農場に与えられる認証です。

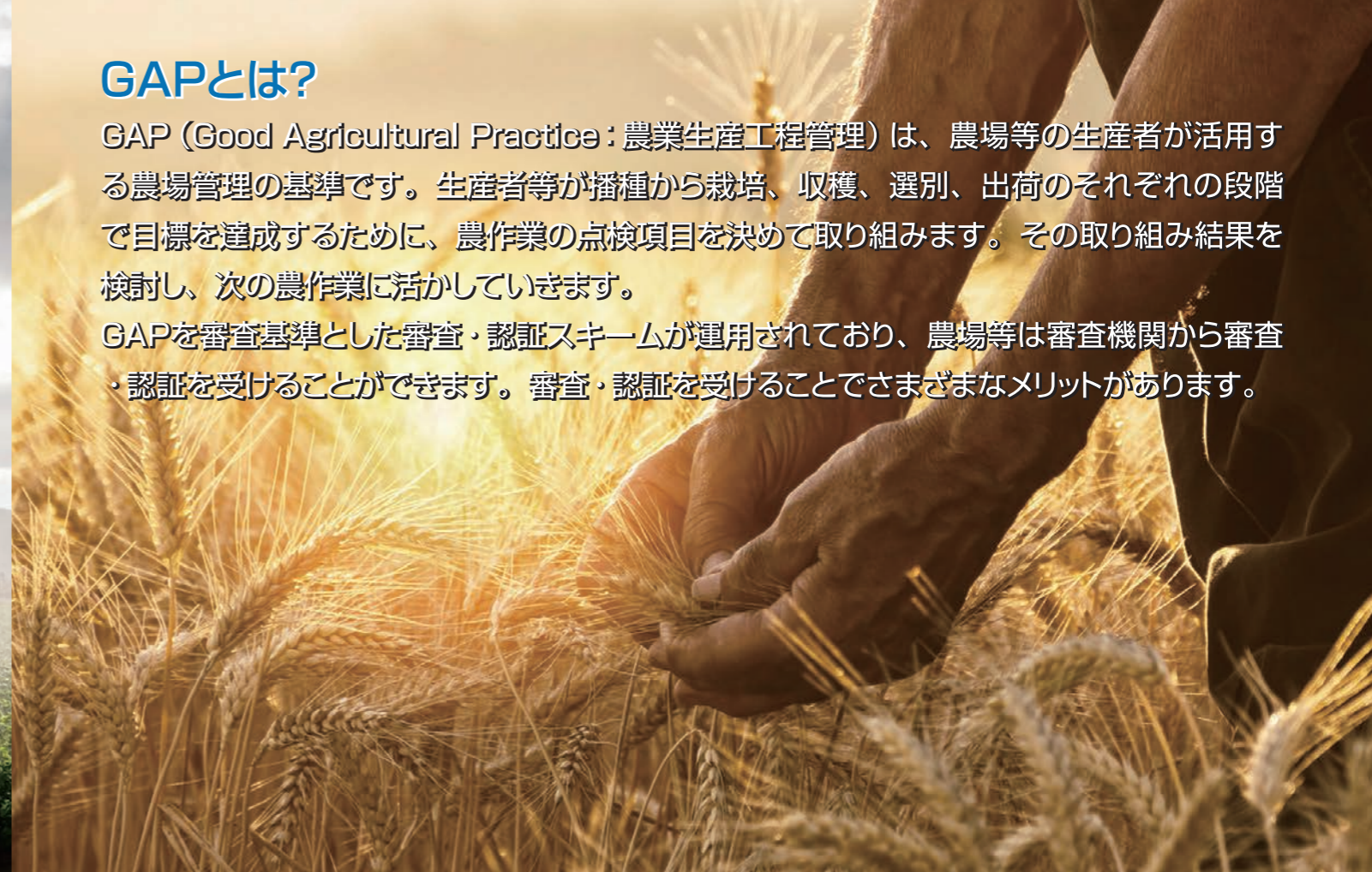
インターテック・サーティフィケーションは、認証を通して「魅力的な農場づくり」のお手伝いをします。



GAPとは?

GAP (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) は、農場等の生産者が活用する農場管理の基準です。生産者等が播種から栽培、収穫、選別、出荷のそれぞれの段階で目標を達成するために、農作業の点検項目を決めて取り組みます。その取り組み結果を検討し、次の農作業に活かしていきます。

GAPを審査基準とした審査・認証スキームが運用されており、農場等は審査機関から審査・認証を受けることができます。審査・認証を受けることでさまざまなメリットがあります。



GAPは大きく2種類があります。

●日本発祥のGAP

日本の農業の実態に応じて作られたGAPです。現在、国内の登録数は7,025農場(2023年3月末)に達し、既に多くの関係者の支持を得ている日本の標準的なGAPです。日本発祥のGAPには、「JGAP」と「ASIAGAP」の二つがあります。

・JGAP (旧 JGAP Basic 2017年8月改称)

近年の国際的動向も視野に入れ、日本の標準的なGAPとして必要十分な内容になっています。

・ASIAGAP (旧 JGAP Advance 2017年8月改称)

GFSI 等の追加要求に対応し、水稻栽培等アジアの農業の特徴にも対応したものです。GAP の普及に必要な不可欠な指導者育成を推進することを通じて発展してきた日本発の JGAP が発展したものです。2018年10月31日にGFSI に承認され、アジア共通の GAP のプラットフォームとして位置づけられ、今後アジアにおいて主流の審査・認証スキームになる見込みです。

●海外発祥のGAP

・GLOBALG.A.P.

GLOBALG.A.P.は、ドイツに本部を置く非営利組織が運営する、農産物のグローバル生産における安全管理を向上させることを目的とした審査・認証スキームです。1990年代後半、欧州で幾度も発生した食品の安全を巡る問題に対応するために、小売事業者団体が集まって、EUREPGAPとして立ち上げました。その後、GLOBALG.A.P.と改称しています。



適切な農場管理のための4つのテーマ

農場運営と
販売管理

食の安全

環境保全型
農業

労働安全

4つのテーマを実現するために、押さえるべき農場管理のポイントをまとめたものが、GAPです。

農場生産者にとってGAP認証取得のメリットとは?

『農場管理の標準化』

GAPを導入すると農場管理が標準化され、効率的になります。同時に、農場経営の様々なリスクを軽減することができます。

『信頼できる農場』

GAP認証を得ることで、信頼できる農場であることを、農産物バイヤーをはじめ社会全体へアピールすることが可能です。

『安定的な取引へ』

農産物バイヤーとの間で、信頼に基づく安定的な取引関係を築くために利用できます。

『農産物の輸出で有利』

農産物を輸出しようとする欧州の農業管理基準であるGLOBALG.A.P.の認証取得を求められる場合があります。